

2015年12月17日

スバル「アイサイト」を搭載するインプレッサ／SUBARU XV が 2015年度予防安全性能アセスメントで最高ランクのJNCAP「先進安全車プラス(ASV+)」を獲得

このたび、スバル独自の運転支援システム「アイサイト」を搭載するインプレッサ／SUBARU XV*1が国土交通省と独立行政法人 自動車事故対策機構(NASVA*2)が実施する、2015年度予防安全性能アセスメントにおいて、最高ランクであるJNCAP*3「先進安全車プラス(ASV+*4)」を獲得しました。

2015年度予防安全性能アセスメントは、2014年度の評価対象となっている衝突被害軽減制動制御装置(AEBS*5)[対車両]と車線逸脱警報装置(LDWS*6)に加え、ドライバーが直接確認することが困難な後方の視界情報を車内のモニターに映し出す装置(バックビューモニター)の評価として、後方視界情報提供装置の試験が実施され、インプレッサ／SUBARU XVは46点満点、インプレッサ SPORT HYBRID／SUBARU XV HYBRIDは45.3点と、共に高い評価をいただき「ASV+」を獲得しました。

スバル車は、これまでに実施された予防安全性能アセスメントにおいて、アイサイトを搭載するすべての車種が「ASV+」を獲得しており、アイサイトを核とした予防安全性能の高さを実証しています。

2015年10月に行ったインプレッサの改良では1.6Lモデルにアイサイト(ver.3)を拡大展開することに加え、後側方警戒支援機能といった、より高い安全性を実現する「アドバンスドセイフティパッケージ」を各モデルに順次採用するなど、さらなる安全性能の追求に取り組んでいます。

<ご参考>

■試験結果詳細(NASVA ホームページ)

http://www.nasva.go.jp/mamoru/active_safety_search/list_search_subaru.html

■スバルオフィシャルウェブサイト(スバルの総合安全)

<http://www.subaru.jp/safety/>

*1:ガソリン車はアイサイト(ver.3)搭載、ハイブリッド車はアイサイト(ver.2)搭載／共にリヤビューカメラ搭載車

*2: National Agency for Automotive Safety & Victims' Aid

*3: Japan New Car Assessment Program

*4: Advanced Safety Vehicle +

*5: Autonomous Emergency Braking System

*6: Lane Departure Warning System



先進安全車プラス(ASV+)

